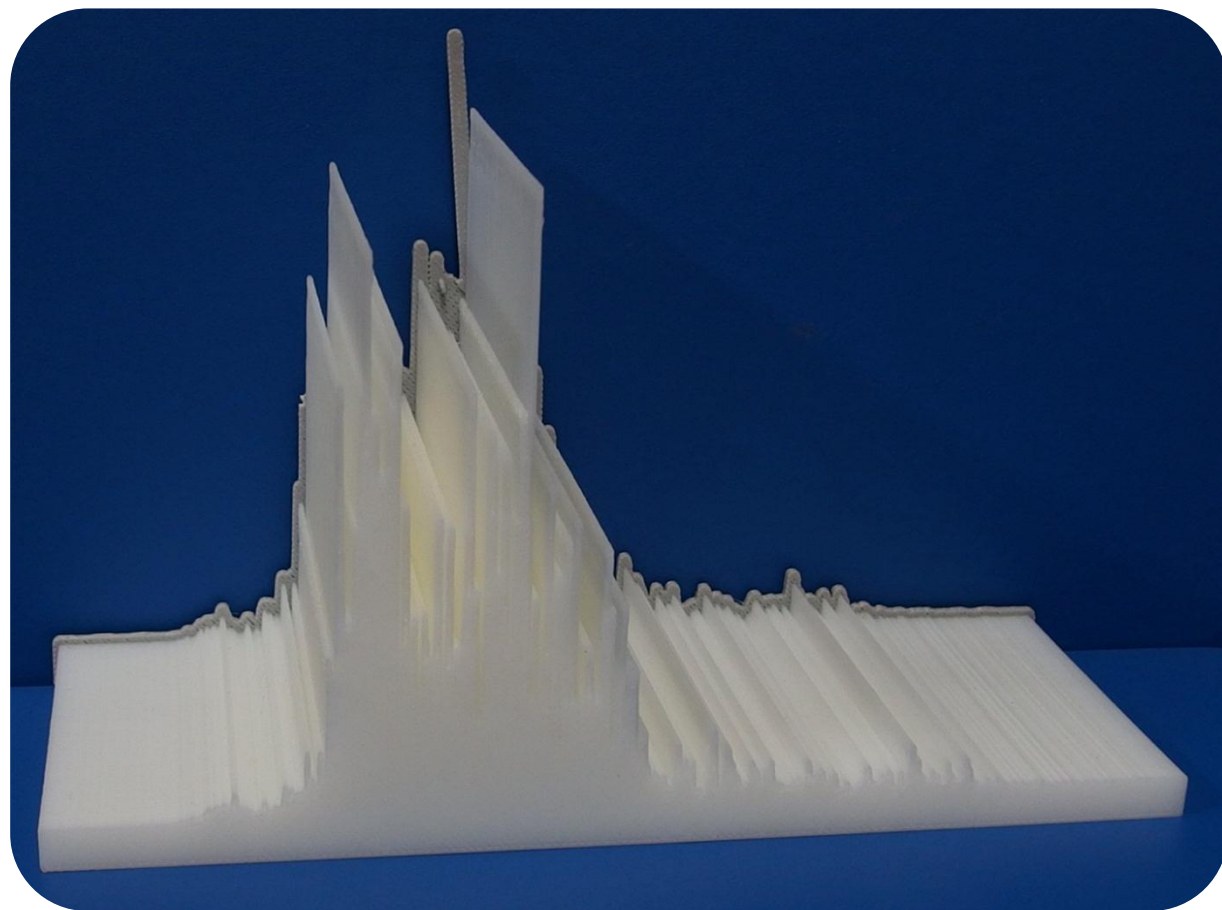


あの地震からX年

—記録された地震から学ぶ—



東日本大震災から3年目を迎えた今年には、1923年関東大震災から90年、1968年十勝沖地震から45年、1983年日本海中部地震から30年という節目の年でもあります。

この企画展では、これらの地震と災害がどのように記録されてきたかを紹介しています。地震の記録は、大地震の断層の形状や断層がずれ動く過程の推定、さらには断層周辺の地下構造等を調べる貴重なデータとなってきました。地震記録と被害に学ぶことで我が国の防災力は向上してきました。しかしながら、災害に関する人の記憶は時とともに薄れていきますし、学び忘れたこともあるかもしれません。その意味で、報告書等の記録も災害の様子を後世に残す大切な資料です。

会 期：2013年

5月16日(木)
～ 8月8日(木)

<土・日・祝・休日は休館>

時 間：10:00～16:00

場 所：弘前大学資料館企画展示室

(文京町地区キャンパス内。第一体育館側
正面玄関よりご入館ください。)

主 催 弘前大学大学院理工学研究科附属地震火山観測所
地球環境学科(地震学・地震工学研究グループ)

後 援 弘前大学大学院理工学研究科

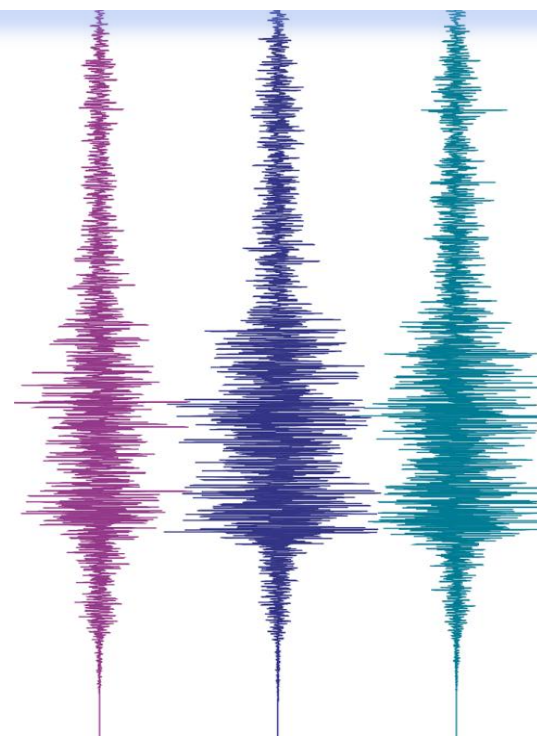
(問い合わせ先)

□弘前大学大学院理工学研究科附属地震火山観測所
TEL / 0172-39-3652 E-mail / mkos@cc.hirosaki-u.ac.jp

□弘前大学資料館
TEL / 0172-39-3432 E-mail / jm3432@cc.hirosaki-u.ac.jp
資料館HP / <http://shiryokan.hirosaki-u.ac.jp/>

【主な展示内容】

- 1923年関東地震・1983年日本海中部地震・2011年東北地方太平洋沖地震の波形記録
- 東北地方太平洋沖地震の波形の3次元模型
- 地震計・記録計等の観測機材
- 震災の報告書や震災に関係した市販の書籍
- 東北地方太平洋沖地震発生直後と1年後・2年後の地面の動きの早送り表示(各1日分)
- 日本海中部地震の被害写真が撮られた地点のGoogle Earth上での表示等



入場無料